

第6回土佐町教育支援センターのあり方検討委員会

令和2年7月13日(月)18:30~19:40

井手委員長

本日の予定としては、教育支援センターの理念について協議をしていただく。それに先立ち、先ほどお配りした土佐町教育行政方針もご確認いただき、それも踏まえて理念の検討をしていただきたい。理念策定後、前回の会を受けて手直した基本方針を確認して日程を終えたい。

本日も1時間を予定している。それでは、はじめに土佐町教育行政方針について教育委員会事務局より説明をお願いします。

教育次長

配布している土佐町教育行政方針について、読み上げて説明とさせていただきます。

『全ての世代が町まるごとを学びの場とし生涯学び続けられるまちづくり』

- ・住民の声に基づいた学校経営、住民が参画した学校運営
- ・持続可能なまちづくりに向けて、地域課題解決を「学び」に変える
- ・全ての自己実現を応援できる多様な学びの機会と選択肢の確保及び保証
- ・保小中高と地域の教育環境の連携を軸に、自動の多様な発達を支援できる土佐町ならではの

教育の実現

- ・全ての学びの基盤である図書館の経営強化を軸にした言語活動の充実

以上を令和2年度土佐町行政方針として定めさせていただきます。

井手委員長

箇条書きのわかりやすい文章であるので、詳しい説明も必要ないかと思う。こちらに沿って今日の検討を進めていっていただきたい。

前回お願いしてあった理念の案についてお配りをしているが、一番下の「こんにちは!わたしの居場所」について、「わたしの未来」を追加していただきたいと連絡があったので、追加をお願いします。

それでは検討に入っていきたいが、またグループに分かれて作業を進めていきたい。その進め方で構わないか。

それでは2グループに分かれて協議をお願いします。マイクを使わないため、傍聴の方は各グループの近くへ来て聞いていただいて構わない。話し合いは19:05まででお願いしたい。委員長、副委員長がそれぞれのグループの司会を。

山首委員

進め方は、今出ているこの案に対して思い等を一人一人言っていただいて、その後、この中から絞る形でどうか。できれば2つくらいに絞っていただいて、グループ同士で協議する形でどうか。ミックスする形でも、そのまま使う形でも構わないので、ワークショップのようになるが、それぞれのグループで2つくらいに絞っていただくのを30分でお願したい。

それぞれの進行は委員長、副委員長がさせていただきます。記録も含めて取っていく。

各グループ共有

山首委員

色々出た。理念なのでわかりやすく、柔らかいイメージで、長くない。難しいと入ってこないで、わかりやすいのがいいだろうという意見が出た。

それと、そこに行く楽しいというイメージがないといけないので、イメージキャッチコピーと理念が相反して出てきて、イメージキャッチコピーが理念なのかというところで悩んだ。

どの意見も目標は同じ。一番上の「自立、自己実現」、「子どもの成長に寄り添い、好きを見つける姿を見守る場」、それから「町まるごと」もキャッチコピーとしてはいいのではないかと。町まるごとが学びに繋がる。居場所もそうだし、町に居る人も、モノも、自然も、町まるごとというのは入れたらどうかという意見があった。

それから、そんな意見を出しながら皆で考えたのが、「夢を見つけるわたしの学び場 町まるごとで切れ目のない支援を」という合算させたもの。子供の視点と大人の視点でキャッチを作ったらどうかという意見だった。

井手委員長

まず、キャッチコピーがいいのか、やはり方向性のこの部分が固い言葉が多い。柔らかい言葉を使った方がいいのではないかと意見があった。

なかなか纏まらなかったが、候補としては理念案の下から4つ目、「すべての子どもに切れ目のない支援で〜」という案が良いのではないかと。ただ、基本方針の箇条書き3つを1文にまとめたものなので、理念と重複する。この箇条書き3つをなくして、「すべての子どもに切れ目のない支援で社会で適応し、自立して生きる力を育てる教育支援の拠点づくり」にしたらどうか。固苦しい言葉ばかりになるので、「ことことやりゆよ」というようなニュアンスの副題を付けたらどうか。例えば、「ことこといこうや」という副題を付けていったらどうかということになった。基本方針の文言を作り変えることにはなるが。

具体的な内容は機能、体制に書いてあるので、そこは削っても問題ないのではないかと意見でまとまった。

山首委員

ここまでをまとめる。

あちらの班では基本方針の理念のところに書く文言が「すべての子どもに切れ目のない支援で社会で適応し、自立して生きる力を育てる教育支援の拠点づくり」。副題として「ことこといこうや」。それぞれのペースでという意味合いで副題を付けた。3つの箇条書きはなしということ。

この2つの案、「夢を見つけるわたしの学び場。町まるごとで切れ目のない支援を。」、「すべての子どもに切れ目のない支援で社会で適応し、自立して生きる力を育てる教育支援の拠点づくり」。副題として「ことこといこうや」、この2つが大きな案として出た。これについて意見をいただきたい。

山首委員

社会で適応しというのは少し引かかる。私たち福祉の方では、子供が社会に適応するのではなく、子供を取り巻く社会が変わらないといけないということが福祉でよく言われる。

障害者の法律ができて、障害者の方が地域で生きていく社会がどんどん変わってきた。LGBTも含めて、多様な方が社会で生きていく。社会の方が変化していくということ。子供が社会の方に適応しないといけないというイメージがありはしないかと感じた。

井手委員長

そう言われて見ればそうなのかなと。

稲村委員

基本方針の3つの丸。これはまとめてその案にしたということだが、私はどちらかというと短い方がいいと思う。その3つはまとめず、残した方がいいと思う。

山首委員

こちらの班でも出たが、この理念が表に出て、住民の皆さんが見たら、これにちょっとした説明文と
いうか、どういう考え方でこの箇条書きが出ているのかと。例えば、基本方針も機能も、この文言だけ
ではなかなか難しい。これに説明があって、例えばこの様な理念で次のことを大事にしていきます
みたいな、文章がカバーしていくとすれば、この出していた理念の中から言葉を拾いながら、こう
いうことを目標とするので、私達はこの言葉にしましたというのがあればもう少し伝わりやすいと思う。
これがそのまま、これだけで出ると、地域の方には「何これ」と受け止める方もいるだろうし、そこまで
深読みはできないと思うので、この表現の仕方もあると思う。

井手委員長

基本方針の3つを残すとすると、下の文言よりはトータル的なことを書いてある、東の班の方が良
いかなと思う。

稲村委員

私達のこちらの案は、まずは子供の視点と、大人の視点と、見方を変えてみようと。子供の方から見
たら「夢を見つけるわたしの学び場」である。大人の方から見たら「町まるごとで切れ目のない支援
を」という思いをそこへ入れた。

山首委員

「町まるごとで切れ目のない支援を」というのは支援者側。子供の視点に立つと「夢を見つけるわ
たしの学び場」。ということ。

鈴木委員

私も賛成。大人の視点と子供の視点と両方入ったほうがバランスがいいと思う。山首さんが仰った
ように「町まるごとで切れ目のない支援を」、サブタイトルで「～夢を見つけるわたしの学び場～」とい
うのが良いと思う。

井手委員長

大人の視点と子供の視点というのは同等でいいのではないか。サブタイトルにするのではなく。ど
ちらが上位でどちらが下位ということではない。両方併記、同等に扱った方がいいのではないか。

もしくは、子供の視点を大事にするのであれば子供の視点を上にして。

近藤委員

子供の視点がまとまっていいなと思った。これ一つで良いのではないか。切れ目のない支援体制ということは体制の中にも書いていて重複する。やはり子供が一番。すっきり、子供が「夢を見つける私の学び場」という一つでいいのではないか。

山首委員

反対意見ももらいたい。

川田委員

私も「切れ目のない支援を」はいいと思ったが、子供の視点からの「夢を見つけるわたしの学び場」というのもしっくりきて良いと思う。

こちらから出した「すべての～」は少し堅かったかもしれないと考えていた。

井手委員長

「夢を見つける～」の1文でという雰囲気だが。

山首委員

先生が書かれている「ゆりかごの里」のホワンとした温かいイメージと、「ことこといこうや」というと自分なりのペースでというイメージが、実際に教育支援センターが始動する前にはそういうイメージのキャラクターや、パンフレットなどのイメージは作りやすいと思うが、やはり、来て、自分らしく楽しくられる、優しい空気があるということは目指していきたい。全体像の表現の仕方が皆さんの中でイメージできてないのでここで絞るのは難しかったなと思う。冊子的な提言の全体ができて、その一文の上というものなら、全体にある言葉がそれほど重複する必要がないので、キャッチコピーみたいな形でいいと思うが、難しい。

井手委員長

他にご意見ないか。それではお諮りする。

キャッチコピーというか、一文でというご意見、「夢を見つけるわたしの学び場」でいこうというご意見と、大人の視点と子供の視点を併記する案。その2つでどちらかというご意見だが、どうか。

山首委員

切れ目のない支援とか、自己実現、自立というのは下に混ぜ込めるのであれば、この一文の方がわかりやすいというのもあるかと。

井手委員長

上の部分、「切れ目のない支援」「町まるごと」という部分は、理念の3つの丸の中にも同じ様な表現がある。私としては「わたしの学び場」だけで良いと思う。

谷内委員

私も賛成。「切れ目のない支援」とかは、説明の中に入れれば良いと思う。

井手委員長

お諮りする。理念については「夢を見つけるわたしの学び場」、これで行きたいと思うがよろしいか。

谷内委員からも具体的な文言を下に足した方がいいのではないかというご意見があるが、これがないとしたら「切れ目ない」という部分の文言がないということになるが。体制の方には入っているが。

谷内委員

なぜ「夢を見つけるわたしの学び場」にしたかという説明があるといい。それで基本方針はこの3つ、体制はこの体制でということ、全体としてはいいのでは。

井手委員長

もう一回確認だが、基本理念に、理念がどうしてこうなったかというのがあればいいということか。

山首委員

いくつか答申も見たが、大きな一行あったら、その考え方、それに至った経緯、例えば皆さんからいただいていた議論中の言葉、こういうことを大事にしていかなければならないということにおいてこのキャッチというところとか、そんな様なイメージを全体の表現としては思った。あくまで私達は教育長に対してこんな考え方はどうかと出すので、住民にはではない。まずは教育長に対してこれを出すという形になると思うので、あとは教育委員会がそれを受けてその形をどうしていくのかという具体はいくと思うが、私達はあくまでも議論した皆さんの思いみたいなものをこの中の文面には入れていきたい。

井手委員長

今日決まったことをもとに答申を作る。その中に理念を決めた経緯を注釈みたいな形で入れるという形で、他のこれを全部文書化していくので、そこで肉付けをしていただくという作業をしていただく。先程谷内委員が言われたような文言をそこへ入れていただくということによろしいか。

今日予定していた理念が決まった。あと、前回の5回目の会での議論を反映させて作り直していた部分、これによろしければ、これに沿って答申案を作っていただくということによろしいか。

次回は、答申案をお配りして、ご確認をいただいた上で教育長に答申するというところで進めていきたい。

山首委員

一つだけいいか。教育支援センターの具体的なイメージがまだどう動いていくのかが共有できていない。例えばA君に対して相談があって、この支援チームとか、関係機関がどう動いていくのかというイメージがついてない。皆さんで共有できていない。

私たち社協は、関係機関。支援チームには資格者。うちで言うと社会福祉士もいるし、相談支援専門員もいる。支援チームがこういう書き方でいいのか、関係機関がこういう書き方でいいのかという見直しは必要ないか。

井手委員長

山首委員が仰るのは、ここに書き抜き、定義抜きがあるのではないかということか。

山首委員

前はこれでご意見したが、本当にこれはこういう様な人が集まってというイメージで、もちろん教育委員会がこれだけしか使いませんか、これ以外の人は入れませんという話ではないので、私たちとしてはこういう方々を入れたらどうですかということで提案するということではないか。

私も保育士さん、それ以外の色々な有資格者の方、資格者ではなくても色々な機関でその働きをしている方とかいらっしゃるかもしれないので、そのあたりの見直しが必要でなければこれでもいいとは思いますが、そこだけ確認をしておきたい。

井手委員長

他に抜かっている職種とか。

山首委員

特にはないが、私達は一辺倒にしか見られないので、こういう人達が抜かっていたらおかしいのではないかというのがあれば。

教育次長

そこまで議論していくとキリがないように思う。一度、そういった形で答申を出していただいて、例えばAさんならこういう対応とかいろんなパターンができてきて、この中ではうまくいかないこともできてくるだろう。そこは臨機応変にという言い方が適切かはわからないが、色々なことを足しながらどんどん良くしていけばいいと思う。ここでこれが抜けているから教育委員会として入れないとか、そんな話にはきつとならない。これまでのもので一度答申を出していただいたらと思う。

井手委員長

答申を出して、体制ができて、活動が始まれば、今度は運営委員会などで意見をいただくこともあるだろう。ひとまず一次の答申を出すということで、ご了解いただけるか。

それでは、「(仮称)土佐町教育支援センターの方向性について」、このイメージを今度は答申に具体化していただく作業をしていただいた後、次の委員会を開きたい。

以上で、理念についての協議を終わりたい。その他にないか。

事務局

次回の会は最終週でどうか。

井手委員長

次回は7/30(木)18:30から第7回検討委員会を行う。

それでは、以上で第6回検討委員会を閉会する。